

2017JR総連春闘を勝利しよう！シリーズ③

賃上げ・夏季手当・諸手当・労働条件改善！

2017JR総連春闘交渉スタート

本部は2月21日、「2017年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れ」（申第21号）に基づく、第1回団体交渉を開催しました。

現場社員の努力や苦労に対してしっかりと応えよ！

団体交渉で本部は、要求趣旨について「JR東海で働く者の労働は、特に同業他社と比べて相当過酷な労働となっている。賃金の引き上げや夏季手当の満額回答、労働条件等の大幅な改善を実現することは至極当然のことである。このことによって世間相場を押し上げることにより国内経済の向上にも繋がる。会社の経営体力の充実を図りたいのなら、まずは会社を支える現場社員の切実な声、すなわち組合の要求にしっかりと応えること。又、専任社員の雇用条件、労働条件を改善し、今後貴重な労働力となる高齢労働者が安心して65歳まで働けるようにすること」等主張しました。

一方会社は、「景気の先行きが予断を許さないものであることを勘案すれば、堅調な経営状況であっても楽観はできず、経営体力を強化する。賃金水準はすでに相当高いレベルにあり、これ以上賃金や諸手当を改善する合理的、客観的な理由は見出せない。夏季手当についても慎重な判断が求められる」と主張しました。

効率化推進での、賃金抑制、労働条件の悪化を許さない！

以上のように、過去最高の業績を上げたのは現場社員の努力や苦労があったからこそと主張する中で、会社は何もその努力に応えようとしていません。

さらに、様々な効率化施策が推進される中で、それに応じた能力を会社は社員に求めてきます。乾いた雑巾をさらに絞るような労務管理のもとでの賃金抑制を、私たちは絶対に許すことはできません。

JR東海労は皆さんの先頭に立って要求満額獲得に向けて奮闘します。

第2回団体交渉は2月27日（月）に開催します。